

北九州から考える アジア共同体

—市民交流の視点から—

“ボーダーレス化”の波から逃れられない北九州。この大きな流れを、私たち北九州市民はどのように泳ぎきるのか。

直木賞受賞作『流』で知られる東山彰良先生をお招きし、“アジアに開かれた大学”である九州国際大学にて、市民交流の視点からアジアの共生について学生とともに考えます。



①特別講演

「越境文学を考える」

東山彰良

1968年台湾生まれ。5歳まで台北で過ごし、9歳の時に日本に移る。福岡県在住。2002年に第1回「このミステリーがすごい!」大賞銀賞・読者賞を受賞し、翌2003年『逃亡作法 TURD ON THE RUN』でデビュー。2009年『路傍』で第11回大藪春彦賞受賞。2015年『流』で第153回直木三十五賞受賞。近著は『罪の終わり』。

②学生プレゼンテーション

プレゼンター:

- ・吉田美咲 (九州国際大学法学部)
- ・新屋和輝 (九州国際大学法学部)
- ・川添千織 (九州国際大学国際関係学部)

③東山先生とのトークショー

パネリストだけでなく、会場の皆さんの質問を受け付けながらトークショーを行います。

パネリスト:

- ・東山 彰良
- ・吉田 美咲 (九州国際大学法学部)
- ・新井 和輝 (九州国際大学法学部)
- ・川添 千織 (九州国際大学国際関係学部)

コーディネーター:

- ・木村 貴 (九州国際大学法学部教授・国際センター副センター長)

10月8日(土) 14:00~16:30

場 所:九州国際大学 KIUホール

参加料:無料(申込不要)

お問い合わせ:九州国際大学国際センター
s-asada@office.kiu.ac.jp

主催:九州国際大学国際センター

後援:一般財団法人ワンアジア財団



2017年、九国大は
新・九国大へ。

九州国際大学

検索